

# 夢と希望の持てる社会の 実現へ全力で奮闘しよう

大阪自治労連執行委員長 有田 洋明



新年おめでとうございます。住民のいのちとくらしを守るにあたり、昨年末から年始にかけてコロナ対応業務をはじめ、昼夜分かたず従事されている皆さんに敬意と感謝を申しあげます。

## いのちとくらしを守る 自治体職場をめざして

昨年末から新型コロナウイルス感染症拡大が広がっています。大阪府の死者が全国最悪の7000人を



WEB併用で行われた旗びらき 学習決起集会（1月4日）

超える事態となっているにもかかわらず、大阪府は具体的な対策をとらず、府民に自己責任を押しつける姿勢を貫いています。いのちを守るため、危機的な状況を解決する対策が求められています。

自治体本来の役割が発揮できる体制の強化、会計年度任用職員など非正規労働者の処遇改善と雇用の継続など、やりがいと誇りをもって働くため、さらに仲間を増やして前進していこうではありませんか。

## 住民とともに新しい 府政・市政の実現を

今年4月に知事選挙、大阪市長選挙など、統一地方選挙が行われます。

大阪では2011年の府市ダブル選から維新政治が10年以上続くもとの、維新公認の首長が19自治体にも広がっています。「成長を止めるな」と大阪カジノを推進し、「身を切る改革」で住民施策を切り捨てるなどの状況が広がっています。

地方自治体の責務を見直し、住民要求を実現するための政策を掲げ、維新政治にストップをかける一大決戦に、みんなの総力をあげて奮闘しようではありませんか。

引き続き、憲法と地方自治を守り発展させるため、すべての労働者と地域住民との共同を広げて全力で奮闘しましょう。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



左から峠書記長、川上副委員長、西川委員長と大阪自治労連の有田委員長

# カジノより いのちとくらし 最優先！

2023春闘スタート集会

12月22日、大阪自治労連の23春闘スタート集会を開催しました。冒頭に、昨年11月6日に結成し、新しく大阪自治労連の仲間となった「サイカパーキング大阪労働組合」にのほりを贈呈しました。西川委員長からは春闘に向けてがんばる決意が述べられました。

スタート集会は、高騰する物価を上回る大幅賃上げを官民のたたかいで勝ち取る決起の場と

して開催しました。さらに、今年4月に行われる大阪府知事選挙をはじめとした統一地方選挙で、政治を変えてくらしを変える意思統一の場でもありました。有田委員長による大阪府政問題の学習会も行い、春闘をたたく準備が始まりました。



# 「公共を 住民の手に 取り戻す」

## 杉並区長選挙の経験に学ぶ

### 「新自由主義」すすめる 杉並区政への不安

杉並区は東京23区の西部に位置し人口57万人。原水爆禁止署名運動の発祥の地であり、歴史的にも様々な住民運動が行われてきましたが、過去20年間の区政は、まるで国政を映す鏡のように停滞していました。

政府による「新自由主義政策」と規制緩和・規制改革のもとで、区政も職員削減をすすめる、今や半数が会計年度任用職員となり、民間委託も増えています。また、「新しい教科書をつくる会」など、多様性を否定し、戦前回帰を狙う改憲勢力が区政にも影響を与え、パートナーシップ条例への反対をはじめ、ジェンダー平等もすすまない行政となっていました。部長級の女性職員がいよいよ減りました。

さらに、「成長」時代の都市計画道路づくりが推進され、施設再編という名の再開発で高齢者や子どもたちの居場所が遠方

に移転されるなど、区民の意見を聞かずにすすめられてきたことに対して、少くない住民が不安をもちました。

### 民営化も再開発も 「いったん立ち止まる」

このようなもとで、ベルギー在住の岸本聡子さんが区長選挙に出馬することになったのです。岸本さんは、新自由主義によって公共サービスも地域経済も女性の権利も後退したヨーロッパで、人々が教育・子育てや水道などを取り戻していく「再公営化」について調査研究してこられた公共政策の専門家です。いわば「超落下傘」候補でしたが、民営化も再開発も「いったん立ち止まろう」と訴え、「気候変動は最優先の課題」「透明な区政の実現」や「区立施設と区の職員はコストではなく杉並の財産です」といった政策を掲げました。

選挙運動も野党共闘の各政党に支えていただきながらも、従

### ミュニシパリズム

新自由主義により、公共サービスの民営化、地域経済の衰退がすすむもとの、ふつうの市民が立ち上がり、地域政党や緩やかなネットワークをつくって、国や大企業の押しつけに抗する自治体をつくり、水道や鉄道の再公営化などを実現する新しい潮流。バルセロナ（スペイン）が代表的で、フィアレスシティ（恐れを知らぬ自治体）ともいわれる。

これは、1970年代の革新自治体に匹敵するものであり、現代的に言えば、新自由主義に抗う「恐れぬ自治体」「ミュニシパリズム」の勝利といえるのではないのでしょうか。

### 今月のキーワード

プラットフォーム・ビルダー

「プラットフォーム」という言葉は、ソフトウェアが動作する時の基盤のことを指します。総務省「自治体戦略2040構想研究会」で、自治体は「サービス・プロバイダー」から「プラットフォーム・ビルダー」になる必要があるとしています。公共サービスは民間等に任せ、自治体はその管理者になるという考えです。

### 今月のキーワード

サービス・プロバイダー

何らかのサービスを提供する人、又は組織（会社や自治体など）のことです。自治体は「公的サービス」のプロバイダー（供給者）です。言葉をつないで、サービス・プロバイダーと言います。他にもたとえば、インターネットサービスを提供する業者も、サービス・プロバイダーですね。